

換気機能に攪拌機能をプラス！
床下中央部の高湿エリアをダイレクトに攪拌換気

Altopia®



特許出願申請済



換気と攪拌の2つの機能を凝縮

従来の一般的な床下換気システムには、「排気型」と「攪拌型」の機器が存在します。2つのシステムを柔軟に組み合わせて様々な現場に対応していく従来の考え方では、どうしても設置台数が多くなってしまうという欠点が存在していました。ダブルシャッターは業界で初めて「排気」と「攪拌」の両機能を、1台のボディに凝縮（特許出願申請済）。従来の方式と比べ、大幅に少ない台数で床下全体の通風換気が可能になります。

セントラル設置による高効率方式

従来の床下換気扇は、基礎外周北側の換気口またはその付近に設置し、南側の換気口から外気を床下へ導入させようとするものでした。しかし床下の南北に風を縦断させようとするこの手法では、空気の移動距離がとても長く、実際にはショートカットや内部損失により、設置台数の割りに通風が弱くなってしまうというデメリットがありました。

ダブルシャッターは、床下の高湿度ゾーンである「中央部付近」へダイレクトに本体を設置し、ダクト排気をおこないます。

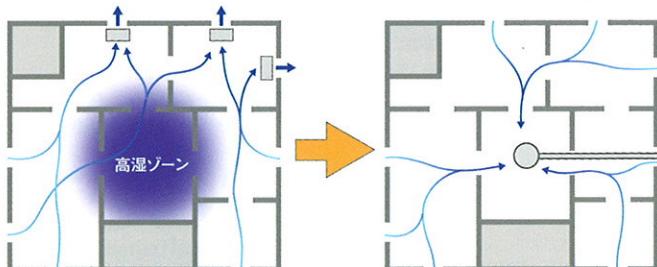
通風経路は従来の「南→北」ではなく、「全周→中央」となり、風の移動距離が大幅に短縮化。抵抗損失やショートカットが発生しない高効率換気を実現します。Φ75mmダクトの採用による、排気経路の設計自由確保が可能にした床下換気の新方式です。

一番湿度が高い場所は床下の中央部

従来、床下の湿気が多い場所は、北側または水回り付近…という認識が主流でした。ところが最近の専門家による研究により、床下で最も相対湿度が高い場所は、特別な事情がない限り、地熱の影響を受けやすく、外気の影響を受けにくい「床下中央部」付近であることが判明してきました。

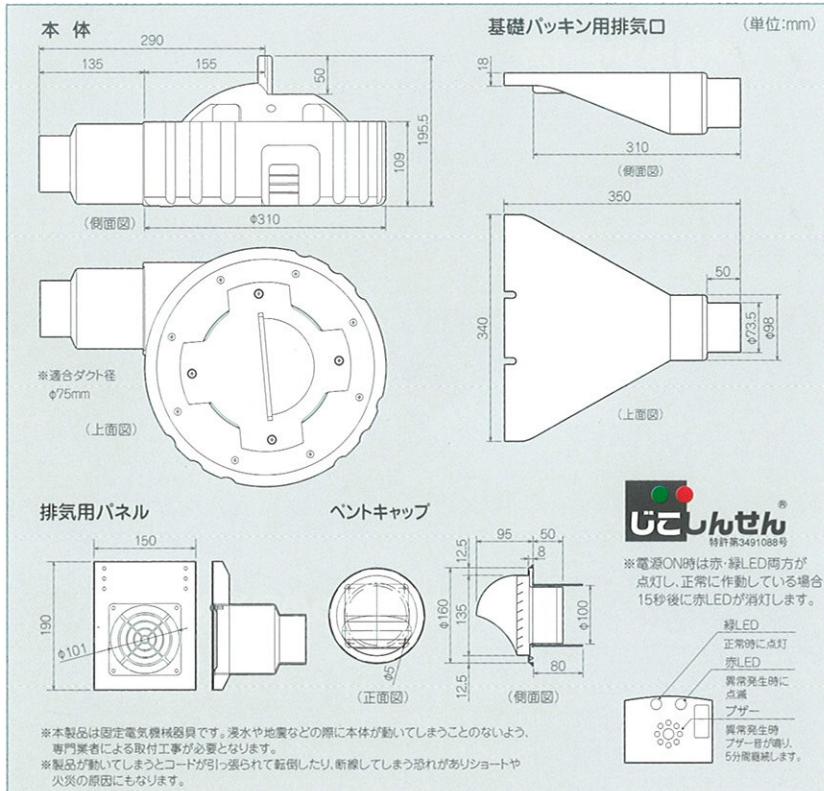
床下中央部は換気の盲点

自然通風による換気方法としては、一般的な床下換気口や基礎パッキン工法による換気が代表的ですが、いずれも通風量は極めて小さく、床下中央部まで風が行き届かない現状があります。また従来型の床下換気扇は、床下中央部から離れた北側外周の基礎開口部、またはその付近に機器を設置するため、自然通風を助成・拡大する一定の効果は得られますが、中央部の高湿空気排出には、攪拌送風機の併設が必要となるなど、設置台数が多くなってしまう非効率な一面が存在していました。





■本体寸法表



OPTION

漏電保護プラグ付き

電源コード

- 床下浸水等、
万一の漏電にも
安心です。



プログラムタイマー AP500

- 1台で埋込、
面付け両方に対応。
- 1日2回運転設定が
可能。(4動作)



■製品仕様

型式名	WS-301J
定格電圧 (V)	AC100(50/60Hz)
モータ	コンデンサ型誘導電動機
本体外郭材質	アルミ(アルマイト処理)/EPS/ABS/PA6
適合電線	VVF-2心(1.6~2.0)
安全装置	モータに温度ヒューズ内蔵
消費電力 (W)	22/23
総風量 (m³/h)	230/240
排気側風量 (m³/h)	130/140
騒音 (dB)	44/45
本体保証期間	お買い上げ日から5年間(タイマーは1年間)
適用面積目安(1台あたり)	66m²(20坪)まで
本体価格	オープン価格

※風量測定は、AMCA規格210に基づくダブルチャンバー方式測定装置(JIS-B8330に適合)にて測定しております。

お問い合わせ先

① WS-301J Sb-1 (基礎開口換気タイプ)

WS-301J 本体ユニット 排気用パネル $\phi 75\text{mm}$ 塩ビ・ダクト (6.5m)

② WS-301J Sb-2 (ペントキャップ換気タイプ)

WS-301J 本体ユニット ペントキャップ フード付 $\phi 75\text{mm}$ 塩ビ・ダクト (6.5m)

③ WS-301J Sb-3 (基礎バッキン換気タイプ)

WS-301J 本体ユニット 基礎バッキン用 排気ノズル $\phi 75\text{mm}$ 塩ビ・ダクト (6.5m)



クロスショーター
全方位搅拌送風システム
3D流体設計・特殊ケーシング採用、
さらなる進化を遂げた搅拌専用機。
強力な回転風は周囲全方向に
隙間無く拡がり、高湿空気を効率よく
搅拌換気します。



グッドデザイン賞
受賞商品
特許登録済

長年ご使用の換気・送風機器の点検をぜひ!

- ご使用の際、
こんな症状は
ありませんか?
- じこしんせんのブザーが鳴る。
- スイッチを入れても羽が回転しない。
- 回転が不規則、または遅い。
- 運転中に、異常音や振動がある。
- 焦げ臭いニオイがある。

ご使用中止 上記のような症状の時は使用を中止し故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談下さい。

- 用途にあつた商品をお選び下さい。不適切な用途で使われますと、故障の原因になることがあります。
- 据付・電気工事が必要です。お買いあげの販売店、または専門業者にご相談下さい。
- 「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。誤った使い方をされると事故の原因になります。

- 製品や取付についてのお問い合わせは、お伺いした各取扱店までご連絡下さい。
- また、上記の注意事項をよくお読みになりお気付きの点がございましたら、お早めにご連絡下さい。
- 改良のため、予告なく変更することがあります。
- お買い求めの折は、工事取扱説明書を必ずお読み下さい。
- 白アリや害虫の駆除については、お伺いした各取扱店に別途ご相談下さい。

■製造元 株式会社 アルトピア
URL: <http://www.altopia.co.jp/>